

# MU2net

Shadow Tray 追加方法

## 目次

第1章 はじめに.....	2
第2章 Shadow Tray 追加方法 .....	3

《改定履歴》

2021年7月28日：初版

《主な改定内容》

## 第 1 章 はじめに

『MU2net Shadow Tray 追加方法』は、Beam Library 納品後に、ユーザー様が Shadow Tray を追加する方法についてご説明した資料です。

本資料におきましてご不明な点がございましたら、エレクトアサポートセンターまでご連絡いただきモデリング担当者をご用命ください。また、メールでのお問い合わせもお受けしております。

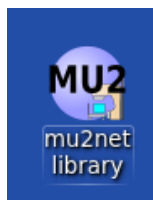
エレクトアサポートセンター : **0120-659-043** (ガイダンス 4)

メールアドレス : [SoftwareService-Japan@elekta.com](mailto:SoftwareService-Japan@elekta.com)

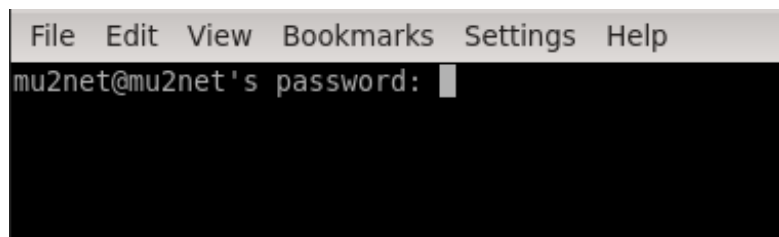
## 第2章 Shadow Tray 追加方法

### (1) MU2net Beam Library の起動

- ① PC デスクトップのアイコン「mu2net library」をダブルクリックします。

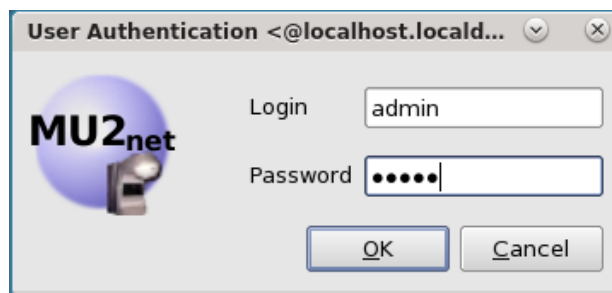


- ② 以下のウィンドウが表示されますので、パスワード「MU2net」を入力します。  
(文字は表示されませんが入力されています。大文字、小文字にご注意ください。)



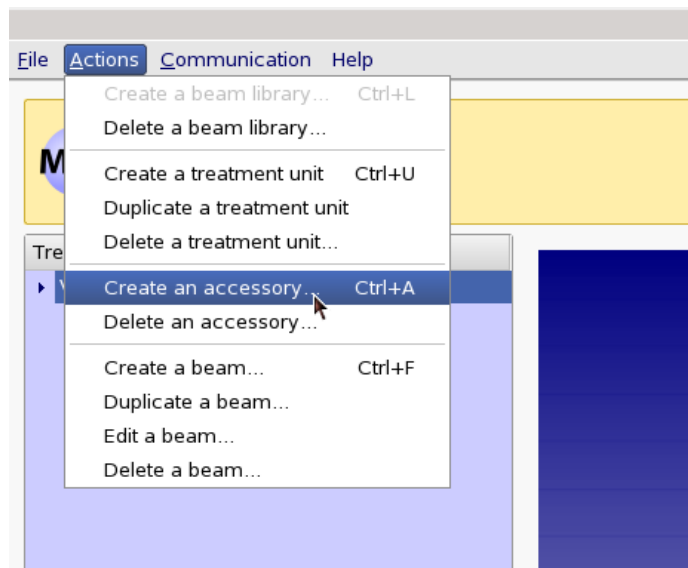
- ③ アプリケーションにログインするためのウィンドウが表示されますので、以下のID、パスワードよりログインしてください。

Login : admin    Password : admin

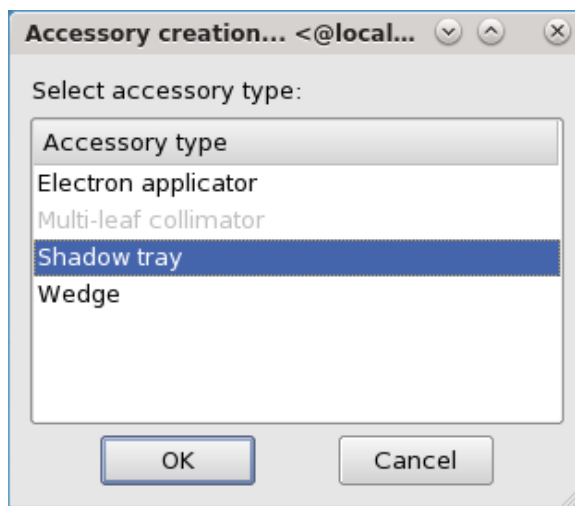


## (2) MU2net Beam Library での操作方法

- ① 画面左上の「Action」タブより、「Create an accessory」を選択します。



- ② 以下のウィンドウが表示されますので、「Shadow tray」を選択し「OK」をクリックします。



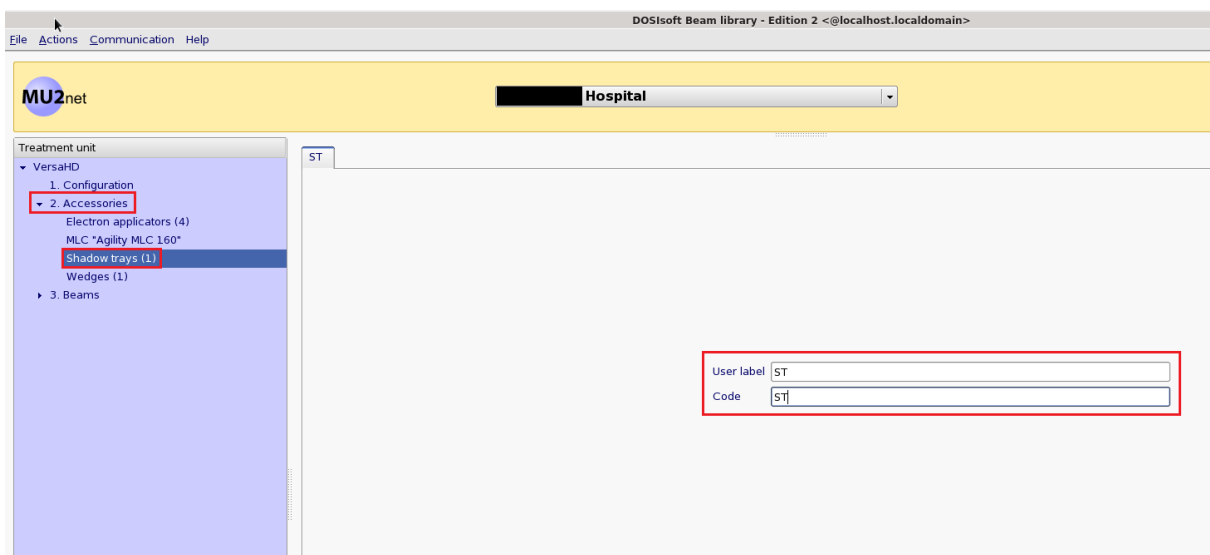
③ 上記の操作により、「2.Accessories」内に「Shadow trays」が追加されました。

「User label」と「Code」を入力してください。

※ User label : ソフトウェア上の名称ですので、ユーザー様で決定ください。

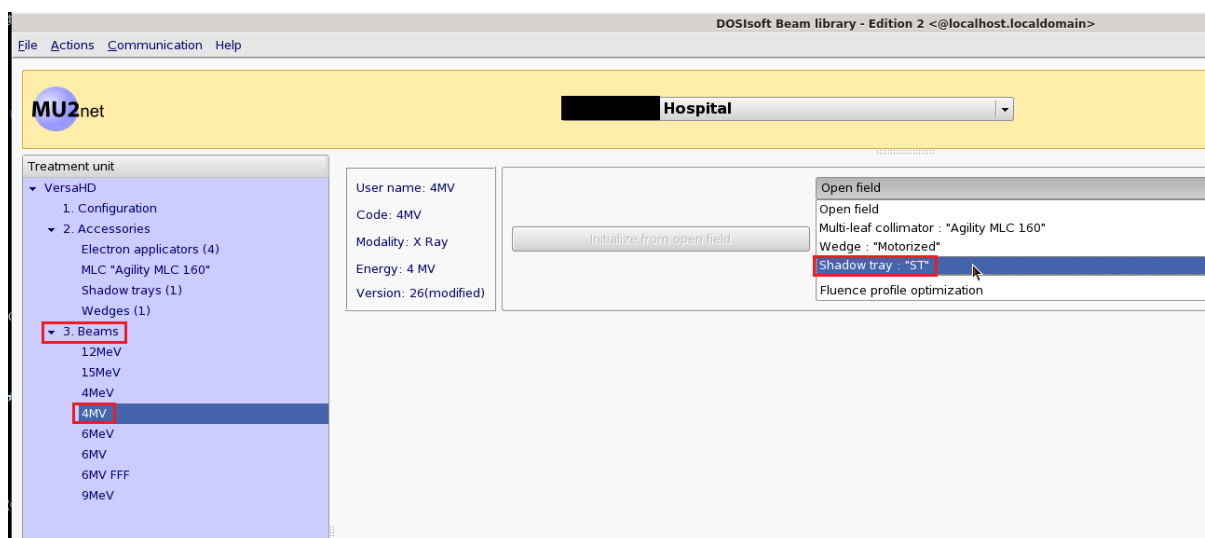
※ Code : 治療計画装置の DICOM Tag と同じ名称にしてください。

(ご不明な場合は、各治療計画装置メーカーに確認してください。)

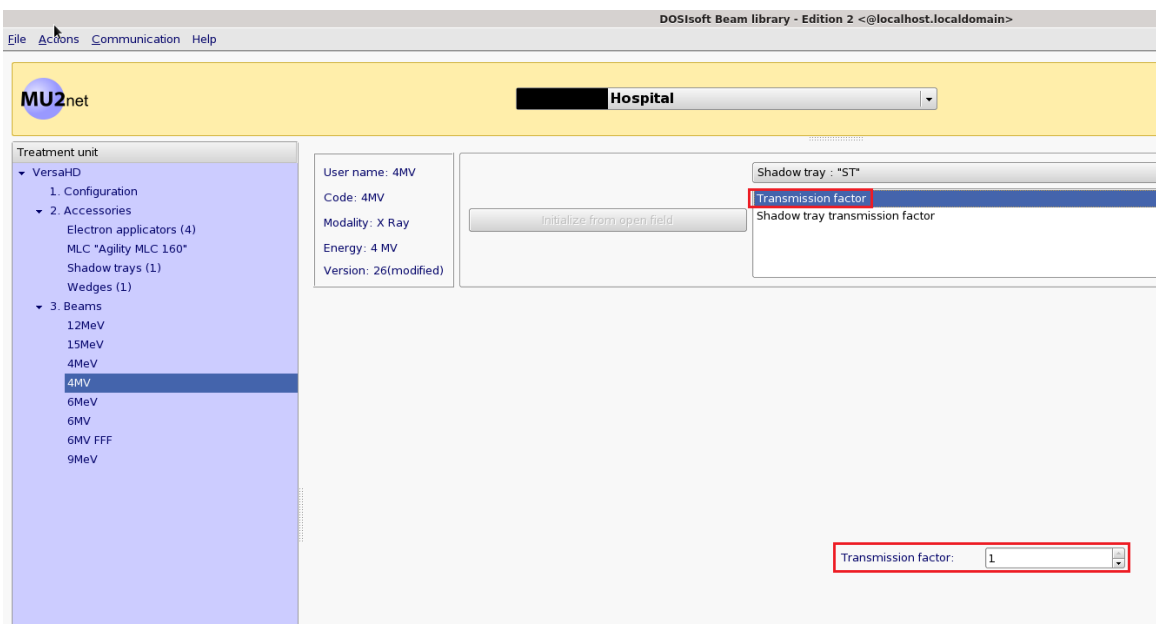


④ 「3.Beams」より Shadow Tray を使用する X 線エネルギーを選択します。

右側の選択欄より「Shadow tray」をクリックします。



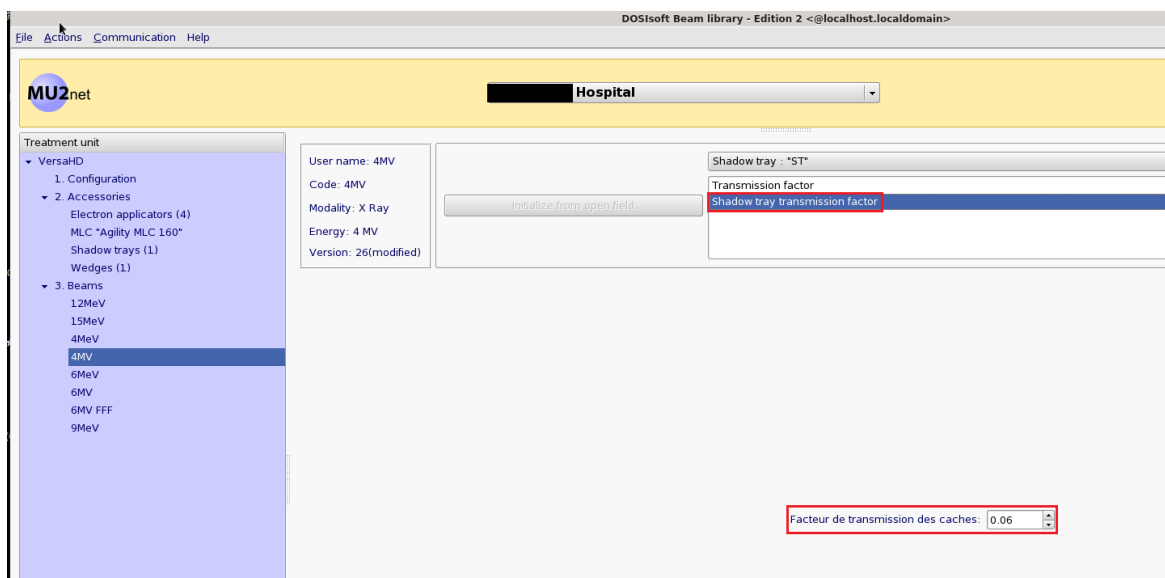
⑤ 「Transmission factor」 に数値を入力します。



⑥ 必要に応じて「Shadow Tray Transmission factor」の数値を修正します。

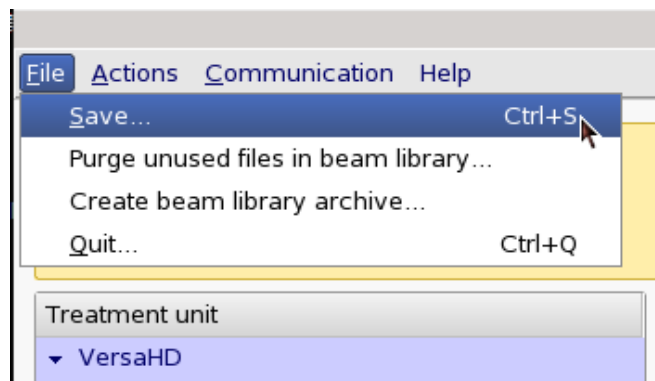
※ Version2.1.1.7では「Shadow tray transmission factor」と表記されていますが、これは表示上の不具合です。正しくは「Transmission of shielding blocks」であり、ブロックの透過率を意味します。これはVersion2.1.1.11より修正されます。

※ DOSIsoft社はデフォルトの0.06を推奨していますが、変更することも可能です。



⑦ Shadow Tray を使用する全てのエネルギーで④～⑥を繰り返します。

⑧ 画面左上の「File」より「Save」をクリックします。



⑨ 「File」より「Quit」をクリックし、MU2net Beam Library を終了します。



エレクタ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-9-1 芝浦ルネサイトタワー7F

エレクタケアサポートセンター : 0120-659-043

Mail : SoftwareService-Japan@elekta.com

URL : <http://www.elekta.co.jp>